

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの
令和2事業年度に係る業務実績に関する
評価結果

令和3年8月

地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会

年度評価の方法

本評価委員会は、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）について、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準」に基づき、法人の第3期中期計画の第2期事業年度である令和2事業年度の業務実績に関する評価を行った。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価を基に法人へのヒアリングを通じて、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況について、総合的な評価を行った。

ただし、令和2事業年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中での業務運営であったことから、年度計画を基準に評価を行うことは適切でないと判断した項目については、除外して評価を行った。

I 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.4であり、また以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号 [小項目評価が5の項目]

・【1ー(3)】災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力

新型コロナウイルス感染症への対応については、桑名医師会と連携がとれており、桑名市総合医療センターを中心とした医療提供体制が整備されていること。

また、県及び県医師会と連携して、患者を速やかに宿泊療養施設に入れるしくみづくりや、後方支援医療機関の確保を行い、他の地域のモデルとなる取り組みを行ったこと。

[小項目評価が4の項目]

・【1ー(1)】重点的に取り組む医療の実施

桑名市消防本部管内全体の救急搬送件数が減少する中、昨年度とほぼ同じ割合で救急患者の受入れを行ったことは、目標を達成していると考えられること。また、新型コロナウイルスの影響により新入院患者数が減少したものの、手術件数は増加していること。

・【1ー(2)】地域医療連携の推進

紹介率、逆紹介率ともに計画値を達成しており、特に逆紹介率は113.2%で、最大限の逆紹介に努めたと考えられること。

・【2－（3）】研修医の受入れ及び育成

初期研修医のフルマッチングを継続し、初期研修医受け入れ枠の1名増が認められたこと。

[評価委員会で自己評価を3から4に変更した項目]

・【2－（4）】看護師の確保及び定着

新型コロナウイルス感染症が拡大し、看護師の負担が増える中、負担軽減やメンタルヘルスケアに取り組み、新入職者を確保し、離職率を8.9%に抑えたことは評価できる。

[小項目評価が2の項目]

・【3－（3）】職員の接遇の向上

一部の受付窓口等での対応について、患者から改善を求める声が寄せられているとのことであるので、改善に努めてもらいたい。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 医療の提供	3	1	2			
2 医療水準の向上	4		2	2		
3 患者サービスの一層の向上	3			2	1	
4 安心して信頼できる質の高い医療の提供	4			4		
合計	14	1	4	8	1	

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

中項目評価の平均点は3.0であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

なお、中項目5の「収入の確保」については、年度計画を基準に評価を行うことは適切でないと判断し、評価対象項目から除外して評価を行った。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 】は中項目番号
〔中項目評価が3の項目〕

・【3】職員の就労環境の整備

時間外労働時間の削減を職員に呼びかけ、医師を含めた職員一人当たりの時間外労働時間を、前年度より19.1%削減したこと。

(3) 中項目評価の集計結果

中項目	評価対象 項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 適切かつ弾力的な人員配置	1			1		
2 職員の職務能力の向上	1			1		
3 職員の就労環境の整備	1			1		
4 効率的な業務体制の推進と改善	1			1		
5 収入の確保	—	—	—	—	—	—
6 支出の節減	1			1		
合計	5			5		

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

「財務内容の改善に関する目標と達成するためにとるべき措置」に関する評価結果は3であり、大項目評価は、B（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益は予算計画を下回る結果となったが、新型コロナウイルス感染症患者受入れのための病床確保に対する補償やPCR検査の実施に対する補助金等の交付により、減価償却前利益が増加したこと。

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の令和2事業年度の業務実績については、3つの大項目評価、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」および、「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」の全てがB評価であること、加えて以下の点を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、おおむね計画どおりに進んでいると評価した。

2 全体評価に当たり考慮した事項（大項目評価に当たり考慮した事項以外のもの）

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・新型コロナウイルス感染症の検査については、桑名医師会が整備したPCR検査センターと分担して行い、地域医療体制の維持に貢献したこと。
- ・非常に難しい初期研修医のフルマッチングを継続していること。また、後期研修医についても、10名を超える受入れを継続していること。
- ・定期的に発行しているコラム「月刊 理事長の部屋」は、利用者から好評で、入院患者等の癒しとなっていること。
- ・市と協働で「卓球珈琲」を開設し、健康づくりと地域コミュニティの活性化に取り組んでいること。

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・有給休暇の年5日取得については、医師以外の職種では、概ね達成できていること。
- ・業務改善に取り組む組織風土を醸成するため、職員から業務の改善を提案するしくみづくりに取り組んでいること。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外来患者数が減少したものの、手術件数の増加等により、外来収益が前年度より増加したこと。
- ・手術件数が増加しているにもかかわらず、診療材料費等が減少しているのは、経費の節減に努めた結果であると考えられること。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ・認定看護師や専門看護師などの専門職種の資格取得の促進について、資格の種類や人数をデータで示すよう検討してもらいたい。
- ・院内ホームページに新たに追加した「職員のご意見箱」の機能については、利用者が少ないことから、有効に活用されるよう努めてもらいたい。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応に係る国等からの補助金の交付が終了した後においても、健全な経営状況を維持できるよう努めてもらいたい。